

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界文化遺産登録3周年記念展
遠ざかる「世界」、キリシタンが待ち望んだ「世界」
—古地図と潜伏キリシタンの信仰用具—

[会期]2022年2月19日(土)～2022年2月27日(日) [会場]Bunkamura ギャラリー(東京都渋谷区)

ゼンリンミュージアム(福岡県北九州市、館長:佐藤渉)は、長崎県(本庁:長崎県長崎市、知事:中村法道)と共同で、2022年2月19日(土)～2022年2月27日(日)まで、古地図・信仰用具等約40点を展示する企画展『遠ざかる「世界」、キリシタンが待ち望んだ「世界」』を、Bunkamura ギャラリー(東京都渋谷区)で開催します。

※2021年9月28日 企画展に関するニュースリリース: <https://www.zenrin.co.jp/information/public/210928.html>

■本展のみどころ

本企画展では、大航海時代の古地図に描かれた日本の姿や、キリシタン大名とキリスト教の関わり、潜伏キリシタンの密かな祈りを物語る信仰用具などを中心に紹介します。

ゼンリンミュージアムが所蔵する古地図と、信仰用具を一連の展示としてご覧いただくことで、ヨーロッパ人の目に映った、日本におけるキリスト教の布教活動の実像を知ることができます。



■開催概要

会場	Bunkamura ギャラリー (東京都渋谷区道玄坂 2-24-1 Bunkamura 1階 メインロビーフロア)		
会期	2022年2月19日(土)～2022年2月27日(日) ※会期中無休		
開館時間	10:00～19:00 ※最終日は17:00まで	入場料	無料
主催	ゼンリンミュージアム	協力	長崎県、長崎歴史文化博物館

■特別出店: 展示とともに、お買い物もお楽しみください!

会期中の休日には、会場内に長崎県のアンテナショップ(日本橋長崎館)と、ゼンリンが福岡県内に2店舗を展開する地図デザイン商品の専門店(Map Design GALLERY)の出張店舗を開設します。

◆日本橋長崎館



—主な取扱商品—
定番商品から
隠れた逸品まで、
長崎県産品各種

—出店日—
2/19(土)
2/20(日)
2/26(土)
2/27(日)

◆Map Design GALLERY



—主な取扱商品—
古地図や長崎の地図
をデザインしたステー
シヨナリーや雑貨

—出店日—
2/19(土)
2/20(日)
2/23(水・祝)
2/26(土)
2/27(日)

※新型コロナウイルスの感染拡大により、出張店舗の開設を見合わせる場合がございます。また、入室時の検温・手指消毒・マスクの着用等、展示室内での感染拡大防止へのご協力をお願いします。

<参考資料>

■東京会場の開催目的

ゼンリンミュージアム(福岡県北九州市)まで足を運べない方々にも、地図の新たな魅力に触れる機会を作ることを中心に、本企画展を開催します。

※ゼンリンミュージアム URL: <https://www.zenrin.co.jp/museum/index.html>

■展示概要

第1章. 大航海時代とキリシタン大名

ポルトガル船の来航によって世界と日本は大きく近づきます。商人や宣教師がもたらす情報によって、「ジパング」の情報はヨーロッパへ伝えられ、精緻な地図も作られるようになります。日本に伝わったキリスト教は、大村純忠らキリシタン大名に保護され全国に広まりました。

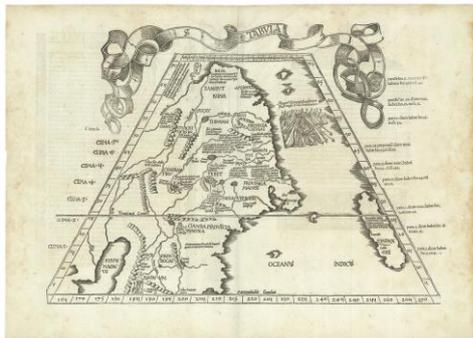
第2章. 遠ざかる世界と潜伏キリシタンの祈り

江戸幕府による禁教と海禁政策によりポルトガル船が追放されると、地図に描かれる日本の情報も乏しくなっています。宣教師も不在となる中で孤立した日本のキリシタンは、自分たちだけで信仰を継承することとなり、独特の信仰形態が育まれました。

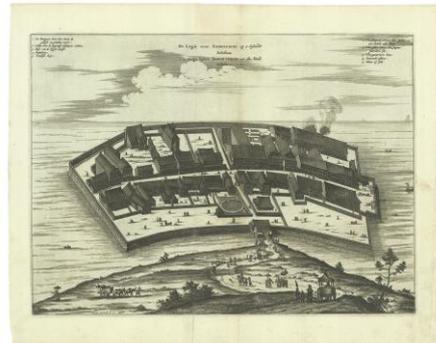
第3章. 再び出会った世界と日本

幕末、2世紀ぶりに日本が開国すると、再び世界と日本は出会います。キリシタンも世界に例をみない孤立を経て宣教師と再会し、新たな信仰用具がもたらされました。

【展示品の一例】



▲プトレマイオス/フリース「大韃靼図」1522年
ゼンリンミュージアム所蔵



▲オギルビー「長崎図」1670年
ゼンリンミュージアム所蔵



▲「お水瓶」
平戸市生月島塚目集落伝来
平戸市生月町博物館・島の館蔵
画像提供: 平戸市



▲「ハンタマルヤ像(マリア観音像)」
中国製 17-18世紀
長崎市三重地区椋山集落伝来
長崎市外海歴史民俗資料館蔵